

## 展示名:推理小説のススメ PART2

1月の展示「推理小説のススメ」、好評につき第2弾をお送りします！ 冊数制限のため、第1弾に入りきらなかったアレやコレやをまとめました！ 是非ご覧ください！

展示期間 2011年1月17日～2月20日

### 展示本リスト

2011年1月現在【高知県立図書館所蔵】

	書名	著者	出版社	出版年	請求記号	(内容)
1	火村英生に捧げる犯罪	有栖川有栖／著	文藝春秋	2008	F/アリス	殺された女性エステティシャン。作家・有栖川有栖への不審な電話と、大阪府警に届く臨床犯罪学者・火村英生宛の挑戦状が予告する犯罪とは…。名コンビが活躍する8篇を収録。本格推理の旗手の技に酔う1冊。
2	ザ・ベストミステリーズ 推理小説年鑑 2007	日本推理作家協会／編 横山 秀夫／〔ほか著〕	講談社	2007	F/スイリ	2006年に発表された短篇ミステリーの中から、ミステリーのプロが選んだベスト15篇。2006年推理小説界の概況やミステリー各賞の歴代受賞リストも付いた、国内唯一無二の推理年鑑。
3	闇の喇叭	有栖川有栖／著	講談社	2011	F/アリス	私立探偵行為を禁止する法律が成立し、探偵狩りが行われている現代。空閑純は、かつて名探偵として名を馳せた両親に育てられた。探偵行為が禁止された国で殺人事件に挑むこと。それが女子高生・純の宿命だった…。
4	真夜中の探偵	有栖川有栖／著	講談社	2011	F/アリス	すべての探偵行為が禁止された日本。父を逮捕された空閑純は、自ら探偵になる決意を固める。密閉された「水の棺」で元探偵が溺死し、容疑者リストに入った純は、自ら謎を解くために調査を始める…。
5	密室と奇蹟 J・D・カー生誕百周年記念アンソロジー	芦辺 拓／著 加賀美 雅之／著 小林 泰三／著 桜庭 一樹／著 田中 啓文／著	東京創元社	2006	F/ミツシ	本格黄金期を代表する不可能犯罪の巨匠ジョン・ディクスン・カー。その生誕100年を記念して、8人の国内作家が贈る入魂のアンソロジー。H・M卿にフェル博士にバンコロン、そしてカー本人も活躍。全編書下ろし。
6	写楽閉じた国の幻	島田荘司／著	新潮社	2010	F/シマタ	浮世絵研究家が入手した1枚の肉筆画。大胆なデフォルメ、奇妙な文字。いったいこれは…。盲点を衝く鮮やかな視点、全てを貫く太いロジック。「写楽」の謎に挑む、圧巻の長編ミステリー。
7	所轄刑事・麻生竜太郎	柴田 よしき／著	新潮社	2007	F/シハタ	人情あふれる下町を奔走する新米刑事・麻生竜太郎。日の当たる道だけを歩んでいるように映る竜太郎だが、人には明かせない秘密があった…。新米刑事の内面を描く、連作警察小説。
8	本格ミステリ 07	本格ミステリ作家クラブ／編	講談社	2007	913.68/ホソ	本格ミステリ作家クラブが選んだ、2006年のベスト本格ミステリ短編&評論のすべて。華麗なるトリック、日常の謎、暗号…。面白さ満点、ファン必読の最新アンソロジー。小説9作、評論2作を収録。
9	クロへの長い道	二階堂 黎人／著	双葉社	1999	F/ニカイ	私立探偵洪柿信介、六歳。母親や知人たちは、私のことを気安く“しんちゃん”と呼ぶ。ニヒルで孤独な幼稚園児は、今日も肅々と事件を解決する。

10	ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。	辻村深月／著	講談社	2009	F/ツシム	30歳。女子にはいつも、見えない壁がある。結婚、仕事、家族、恋人、学歴、出産…。そして、娘たちは、事件に巻き込まれていく。辻村深月が29歳の「今」だからこそ描く、感動の長編書き下ろし作品。
11	配達あかずきん	大崎 梢／著	東京創元社	2006	F/オオサ	書店の謎は、書店人が解かなきゃ。駅ビル内の書店・成風堂を舞台に、しっかり者の書店員・杏子と、勤の良いアルバイト店員・多絵のコンビが、様々な謎に取り組んでいく。元書店員が描く本格書店ミステリ登場。
12	坂口安吾全集 06	坂口 安吾／著	筑摩書房	1998	918.68/サカ/6	『不連続殺人事件』や『私の探偵小説』など、1947年(昭和22)年1月から1948年(昭和23)年7月にかけて発売された、坂口安吾のミステリや評論、エッセイを収録。
13	彼女らは雪の迷宮に	芦辺拓／著	祥伝社	2008	F/アシハ	全く共通点の無い6人の女たちに「雪華荘ホテル」からの招待状が届いた。彼女たちには格好の誘いに思えたが、それは事件の始まりだった…。名探偵・森江春策がクローズド・サークルの謎に挑む、本格ミステリ。
14	なぜ絵版師に頼まなかったのか 明治異国助人奔る!	北森鴻／著	光文社	2008	F/キタモ	憧れの帝都でドイツ人医師の給仕となった葛城冬馬。文明開化で新しい風が吹く帝都で、謎めいた事件が…。日本をこよなく愛するお雇い外国人・ベルツ先生とその弟子・葛城冬馬が、奇妙な事件の数々に挑む。
15	紙魚家崩壊 九つの謎	北村 薫／著	講談社	2006	F/キタム	昔話『かちかち山』で、山火事の原因となった「おばあさん殺害事件」の真相とは? (「新釈おとぎばなし」)——雑誌などに掲載された9編を収録した、傑作ミステリ短編集。優美なたくらみに満ちた9つの謎が展開される。
16	ドント・ストップ・ザ・ダンス	柴田よしき／著	実業之日本社	2009	F/シハタ	暴行されて昏睡状態に陥った男は、にこにこ園の園児の父親だった。失踪した母親の行方を追う花咲にも危険が迫る。燃え上がった炎に包まれた謎とは…。園長兼私立探偵・花咲慎一郎シリーズ。
17	青銅の悲劇 瀕死の王	笠井潔／著	講談社	2008	F/カサイ	1988年末、東京郊外の旧家、鷹見澤家に続発する奇妙な事件。そして冬至の日、当主の信輔が突然倒れる。旧家を襲う悲劇とそれに纏わる忌まわしき因縁とは。矢吹駆シリーズ日本篇、待望の第1作。
18	葉桜の季節に君を想うということ	歌野 晶午／著	文芸春秋	2003	F/ウタノ	ひよんなことから靈感商法事件に巻き込まれた“何でもやってやろう屋”探偵・成瀬将虎。恋愛あり、活劇ありの物語の行方は…。新本格第一世代の雄が騙しの極致に挑んだ、最後まで目が離せない長篇。
19	猫は忘れない	東直己／著	早川書房	2011	F/アスマ	飲み仲間のミーナから、旅行中の飼い猫の世話を頼まれた「俺」。餌をやり訪れたマンションで、冷たくなった彼女の死体と遭遇するはめに…。「ススキノ探偵」シリーズ。
20	乱鴉の島 Nevermore	有栖川 有栖／著	新潮社	2006	F/アリス	絶海の孤島。瀟洒な洋館。癖のある人々。乱舞する鴉。奇怪な殺人事件。精緻なロジックの導き出すエレガントな結末。ミステリの醍醐味と喜びを詰め込んだ、火村英生シリーズ初の孤島モノ。

21	仁木悦子長篇アラカルト 1(晴の巻)	仁木悦子／著	出版芸術 社	2011	F/ニキエ/1	日本のクリスティーが描く、人間味あふれる本格ミステリ。幻の中篇「炎いろの記憶」を単行本に初収録。初期の長篇「枯葉色の街で」、短篇「空色の魔女」「赤と白の賭け」の全4篇。著者自身による作品ノートも収録。
22	アマルフィ	真保裕一／著	扶桑社	2009	F/シンホ	2009年7月公開の映画「アマルフィ」の原作本。ローマで日本人少女が誘拐。真相を追い、外交官・黒田がイタリアを駆ける…。サスペンスの名手が書き下ろす、エンターテインメント小説の新境地。
23	ユリゴコロ	沼田まほかる／著	双葉社	2011	F/ヌマタ	「私は人を殺す時だけ、世界とつながれるのです」。暗黒の欲望にとり憑かれ、さまよう魂。運命は、たったひとつの愛と出会わせた…。おそろべき筆力で描き切った衝撃の恋愛ミステリー。
24	誘う森	吉永南央／著	東京創元 社	2008	F/ヨシナ	自殺の名所と呼ばれる森で、自殺防止のボランティアをしていた妻が自殺。一体何が起きたのか。少しずつ暴かれる真実は、かの森へと洋介を導く…。優美な文体で、失われた過去を探る傑作ミステリ。
25	マッチメイク	不知火 京介／著	講談社	2003	F/シラヌ	第49回江戸川乱歩賞受賞作。大手プロレス団体のスターが試合中に死んだ。自殺か、他殺か。「最強」を夢見る新米レスラー・山田聡は、真相に迫れるか。痛快格闘技ミステリー堂々登場。
26	森下雨村探偵小説選	森下 雨村／著	論創社	2008	K/913/モリ	「新青年」初代編集主幹であり、江戸川乱歩や横溝正史を見出した日本探偵小説の父・森下雨村。あまり知られていない探偵小説としての作品「呪いの仮面」「丹那殺人事件」ほか、評論・随筆を集成した貴重な1冊。
27	ザ・ベストミステリーズ 推 理小説年鑑 2011	日本推理作家協会 ／編	講談社	2011	F/スイリ	2010年究極の短編ミステリ12編。日本推理作家協会賞短編部門受賞作、深水黎一郎「人間の尊厳と八〇〇メートル」を含む、全ての第64回候補作品を一挙掲載。推理小説関係受賞リストなども付いた推理年鑑。
28	八月のマルクス	新野 剛志／著	講談社	1999	F/シンノ	レイプ・スキャンダルで引退したお笑い芸人・笠原の相方が失踪し、かつてスキャンダル記事を書きたてた記者が殺された。笠原は事件の真相を暴くことができるのか。第45回江戸川乱歩賞受賞作。